

中部学院BYODガイド Q&A

Q1	BYODとはどのような意味ですか？
A1	BYODは「Bring Your Own Device」の略で、個人が所有するパソコンやタブレットなどの端末を大学に持ち込み、学修や学生生活に利用する仕組みを指します。 自分の使い慣れた端末を利用できるため操作がスムーズになり、学習や操作の効率が向上します。
Q2	新しくパソコンを購入したいと思いますが、どのように選んでよいのかわかりません。
A2	各学科が指定する推奨スペックを満たすパソコンをご購入ください。 なお、Officeアプリは大学から無償で提供されますので、購入時にOfficeを除くことで価格を抑えられます。 迷った場合は、大学専用のオンライン購入窓口を利用されますと、必要なスペックを満たした機種を購入できます。
Q3	既に持っているWindowsパソコンを使ってもいいですか？
A3	各学科が指定する「基本スペック」を満たしていれば、ご利用いただけます。 ただし、OSはサポート期間中であることが条件です。 ※現在、Windows 10はサポートが終了しているため、Windows 11の利用が必須です。
Q4	MacやiPad、Chromebookなど、Windows以外のパソコンを購入・使用してもいいですか？
A4	原則として、大学の授業はWindowsを前提に進めます。 そのため、Windows以外のOSを使う場合は、OSの違いを理解し、自分で対応できる方のみご利用ください。 なお、ChromebookはMicrosoft 365のデスクトップアプリをインストールできず、Web版のみ利用可能です。 そのため、機能が制限される点にご注意ください。 また、いずれのOSを使用する場合も、必ずサポート期間中のバージョンをご利用ください。
Q5	既に持っているパソコンが、大学の指定スペックを満たしているかどうか、どう確認すればいいですか？
A5	機種によって確認方法が異なります。一般的には、以下の方法でスペックの確認ができます。 ① Windows … 左下の「  検索バー」に「システム情報」と入力する。 ② Mac … 左上の「  マーク」→「このMacについて」をクリックする。 ③ iPad … 「設定」アプリを開き、「一般」→「情報」をタップする。
Q6	内蔵記憶装置がSSDではなくHDDのパソコンでも問題ありませんか？
A6	問題ありません。 ただし、性能面でSSDの方が優れているため、新しく購入する際は、SSD搭載のパソコンを推奨します。
Q7	バッテリー駆動時間が短い場合、利用に問題はありますか？
A7	授業によっては途中で充電が必要になる可能性があります。 教室には原則として電源設備がありませんので、事前に十分充電しておくか、モバイルバッテリーなどを持参してください。
Q8	キーボードは必要ですか？
A8	基本スペックに含まれていますので必要です。 タブレット等を使用する場合は、外付けキーボードで構いませんので必ず用意してください。
Q9	盗難や紛失、故障等に備えて、保険に入った方が良いでしょうか？
A9	基本的には、加入するかどうかは個人の判断です。 メーカー保証は通常1年間ありますが、それ以上の補償が必要かどうかは、ご自身で検討してください。 なお、大学専用のオンライン購入サイトでは、保険をオプションで追加することもできます。
Q10	入学までに購入したパソコンが届かないなどの理由で、パソコンが準備できない場合はどうしたらいいですか？
A10	やむを得ない場合は、一部の内容については、スマートフォンでも対応可能です。 (ただし、あくまでもやむを得ない場合の暫定的な対応と理解してください。) パソコンがすぐに用意できない場合は、お手持ちのスマートフォンを使って対応できる範囲で進めてください。 ただし、授業や課題によってはパソコンが必要になる場面もあります。 また、学科によっては、スマートフォンでは、授業進行等に大きな支障が生じる可能性もありますので、できるだけ早めにご準備いただくことをおすすめします。

Q11	大学から無償で提供されるアプリ・ソフトはありますか？
A11	大学が包括契約を行っているため、本学の学生は入学後から卒業まで、Microsoft 365 (Word、Excel、PowerPoint 等) のデスクトップアプリを無償でインストールし利用することができます。 そのため個人でOfficeアプリ購入する必要はありません。 利用できる台数は、1人当たり5台のパソコン・5台のタブレット・5台のスマートフォン(最大15台まで)です。
Q12	自身で購入しなければならないアプリ・ソフトはありますか？
A12	基本的には、特別に購入が必要なソフトはありません。 ただし、ウイルス対策については注意が必要です。 Windowsのパソコンには「Microsoft Defender」というウイルス対策機能が標準で搭載されており、これを有効にすれば、通常の使い方であれば十分な安全性が確保できます。 さらに高いセキュリティや追加機能を希望する場合は、市販の有料ウイルス対策ソフトを購入することも可能です。 各自の判断で対応してください。
Q13	Microsoft 365 はどうやって入手できますか？
A13	入学後に、各自が自宅にてダウンロード・インストールしてください。 方法については、入学後のオリエンテーションと配布資料等にて説明します。
Q14	「入学前までに、パソコンの初期セットアップを完了してください」とありますが、具体的にはどのようなことをすればよいですか？
A14	以下の状態になっていれば初期セットアップ完了と考えられます。 1, デスクトップ画面が正常に表示されていること 2, 十分に充電されていること(または電源に接続できること)
Q15	購入したWindowsで初めて電源をつけると、Microsoft アカウントの入力を求められました。 どうしたらいいですか？
A15	普段利用している個人メールアドレスを入力してください。 個人メールアドレスを所有していなければGmail等のフリーメールアドレスを取得し入力してください。 なお、Microsoftアカウントの設定の際に、入学後に大学から付与されるメールアドレスを使用することは避けてください。 卒業後にメールアドレスが無効となるため、設定変更やパソコン修理時に必要な情報を取得できなくなります。
Q16	パソコン以外に準備するものはありますか？
A16	自宅や下宿先で利用できるインターネット接続環境をご準備ください。 例: インターネット回線やWi-Fi機器の設置、スマートフォンのテザリング機能など。
Q17	大学で利用するメールアドレスやアカウントなどは、いつ発行されますか？
A17	入学後オリエンテーションにて、配布します。
Q18	パソコン利用に関するオリエンテーションはありますか？
A18	入学後のオリエンテーションで、学内Wi-Fiへの接続方法、各種アカウントの配布、Microsoft365のインストール方法などの説明を行います。
Q19	大学内に一時的に利用できるパソコンはありますか？
A19	原則としてありませんので、必ずご自身のパソコンをご持参ください。 一時的な貸し出しサービスはありますが、1日1,000円の有料制で、台数が非常に限られています。 利用を希望する場合は、事前に確認してください。
Q20	大学内で充電はできますか？
A20	原則として、教室に電源設備はありません。 ごく一部の教室には電源がありますが、基本的には自宅などで充電してから持参してください。 バッテリー切れが心配な場合は、モバイルバッテリーを持参することをおすすめします。
Q21	大学にパソコンやシステムに関するサポート窓口はありますか？
A21	対応窓口として「ICTサポートデスク」が設置されています。 授業で使用するシステムや学内ネットワークに関する質問・トラブルについては、ICTサポートデスクが対応します。 ただし、パソコン本体の故障や設定など、機器そのものに関する内容は、購入先や加入されている保険・保証サービスへお問い合わせください。